

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	高度急性期病院の持ち帰り褥瘡の実態と地域連携における課題
研究責任者	大杉 純子(看護部)
研究実施体制	なし
研究期間	2022年1月1日～2022年12月31日
対象者	上記期間内に、院内で褥瘡発生または入院前から褥瘡を保有し、当院を退院される方
研究の意義・目的	2021年の院内褥瘡発生は395名で褥瘡推定発生率は1.2%であった。院内褥瘡発生に関しては、毎月分析を行い、対策を行っている。一方で、持ち帰り褥瘡に関しては、実態調査をしたことがなかった。実態調査を行うことで、地域連携における課題を明確にする。
研究の方法	診療録から、褥瘡を持ち帰る患者の下記のデータを収集する。 入院病棟、入院診療科、日常生活自立度、性別、年齢、身長、体重、BMI 院内発生褥瘡か持ち込み褥瘡か、自重関連褥瘡か医療関連機器圧迫創傷か、医療関連機器圧迫創傷の場合関与した医療機器、褥瘡発生日、褥瘡部位、褥瘡の深さ、退院時褥瘡保有の有無、転帰、退院時褥瘡ケア方法、看護情報提供書記載内容、介護者
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を辞退する場合は、その理由にかかわらず参加を中止することが出来ます。「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。直ちに情報は廃棄しますが、申し出の時点で研究結果を公表していたときなど、データから除けない場合があります。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 看護部 氏名 大杉 純子 TEL:053-474-2222(代表) 9:00～17:00 平日